

第5回

徹明小学校・木之本小学校統合準備委員会 会議録

と き：H 24.6.20（水）14:30～16:30

ところ：徹明公民館

出席者 自治会連合会 松原会長[徹明]、古澤会長[木之本]
野口副会長[徹明]、長野支部長[木之本]
P T A 川島会長[徹明]、宮崎会長[木之本]
遠藤副会長[徹明]、大山副会長[木之本]
学 校 杉山校長[徹明]、吉村校長[木之本]
辻教頭[徹明]、吉岡教頭[木之本]
事 務 局 教育委員会事務局 長原次長兼教育立市政策審議監
教育政策課 大塚主幹、後藤主任、三村主事
(以上 17 名)

次第

- 1 前回会議録の確認
- 2 議事
 - (1) 規約の確認
 - (2) 報告書の内容とスケジュールについて
 - (3) 徹明小学校の施設見学と通学路確認
- 3 次回の協議事項・日程

会議録（要旨）

事務局 第5回徹明・木之本小学校統合準備委員会を始めたいと思います。議事に入る前に前回の議事録の確認を行いたいと思います。

（一部修正し、市のホームページで公開することを承認）

委員長 それでは議事の進行を委員長にお願いしたいと思います。
ただ今から統合準備委員会を開催させていただきます。
前回の委員会において、規約を改正せずにPTAの代表として今まで2名であったところを3名でお願いしたのですが、規約を改正してオブザーバーではなく、委員とし、PTAの代表は3名にするということをお願いしたいと思います。これから進めていく中で、PTAの方々の意見が大いに重要であろうということですので、3名でお願いできないかと思います。

（全委員一致）

議事の2番目の報告書の内容とスケジュールについて事務局から説明をお願いします。

（事務局説明）

委員長 今の事務局からの説明で何かご質問等がありましたらお願いします。

委員 跡地利用などもある程度地元の話し合いで決めていく、意見を出すということですか。

事務局 方向性を言っただけであればと思います。明德と本郷の時は、学校決定前に検討することは、時期尚早だということで具体的なご意見ではなく、統合が決まった後に要望書が出されました。現在、明德地区との協議会の場を設けておまして、その中で協議しながら、跡地の整備について地元と話し合いを進めている状況です。統合までで終わりと言うことでなく、統合後も地元の方と協議の場をもって話し合いを進めていくつもりですのでよろしくお願いします。

委員長 どうでしょうか。スケジュール通りではちょっとタイトという思いがあります。

委員 8月28日の第7回の議題に「統合場所について」とありますが、たとえば7月24日に第6回の委員会が終わりますよね。この日は既に夏休みで、第6回の委員会から第7回の委員会の間（夏休み）にPTAの方の意見を聞くというのは難しいかと思います。ですので、その前までに聞いておいた方がいいと思います。

- 事務局** 8月の第7回の委員会だけでなく、9月の第8回の委員会も含めて、統合についてのご意見をうかがえればいいかと思しますのでこのスケジュール案に縛られず、柔軟に意見を言っていて、意見書をまとめていただければと思います。
- 委員** あくまでもH27年度の統合予定のためには10月23日に報告書を完成させておきたいということですね。
- 事務局** H25年度、H26年度で具体的な部会を作って細かい作業をしていくということになると、H24年度中に統合についての何かしらの方向性が見えてないと統合が出来ないという前提で、このスケジュールは組んでおります。
- 委員** どちらにしても場所が決まらないことには、統合が遅れるということですよ。前回、統合の場所と跡地は並行してできればと思っていましたが、このスケジュールだととてもじゃないけど難しいと思います。
- 場所が決まれば跡地を真剣に考えられます。先ほどの明德と本郷のように、統合場所が決まってから活用要望する方法が一番いいと思います。統合場所をどこにするかということは、今日は徹明の学校施設を見ていただき、来月は木之本の学校施設を見ていただいた上で、各地元の方には動いていただいて意見を集約していかないといけません。PTAは夏休みになったら集まらないし、こういうふうに決まりましたって話ならいいけれど、どうしようっていう話だと進まないの、PTAはうまく意見集約をしなければいけません
- 委員** いろんな人と話をしている気になるのはみなさんそこ（統合場所をどこにするのかという問題）になってきます。
- 委員** 学校を見学していただいて、より安心安全な環境を含めてみて、ここで結論が言えればいいですが、無理ならばお互いが市教委へ要望書を出して、市教委が決めていくということになると思います。市教委としてはこの場で決めて欲しいと言うことですが、決定権は我々にないのでそれはなかなか難しいと思います。ただ丸投げは何のために何回も委員会をやったのかということになると思います。
- 委員** 根本的なことを聞きたいのですが、前回の委員会で当時の岐阜小の教頭先生が名前も伝統も新しいものでスタートをされると言われましたが、それについてどう思われましたか
- 委員** 基本的には今の学校が閉校して新たな学校が開校ってことですよ。新たな校名が出来て新しい学校が出来ると認識しています。
- 事務局** H27年に統合して新しい学校を創るということです。
- 委員** 基本的には今ある学校2校を廃校にして、新しい学校の校名は今の名前を使うという話し合いがつけば、あえて名前を変えなくてもいいのですよね。
- 事務局** 学校の場所も校名についても地域の方にご意見を伺って決めてい

ただくということです。

委員 昔からの学校のいろんな賞とか飾ってありますよね。それは持ち寄って新しい学校をスタートするのですか。

事務局 全部が全部どこかに飾るのか、全部飾らないならどこまでなのかというのは、学校の運営部会の中で話し合っていくという形になります。

委員 岐阜小の時には金華にあるものと京町にあるものを一つにしたということはあったので、特別両校にそういうのがあれば今回もありうるかもしれません。
特に統合された方は、決まってからもいろいろと問題が出てくるのです。

委員長 各地域が意見をそれぞれが集約して持ち寄り、それについて話し合いをするとすると日程的に難しいのではないのでしょうか。H27年度に開校するならば、このスケジュールでやっていかないとならないのもわかっています。みなさんで協力してやっていかないとはいけません、出来ない、まとまらない場合のことも考えなければならぬと思います。

委員 資料4の1の報告内容の統合の是非についてですが、市教委の方から報告の必要がありますよということで太字で書いてあるのか、準備委員会でこういうふう結論を出されたのかどちらですか。

事務局 準備委員会がというよりも教育委員会として準備委員会から報告をもらう際には、統合するという意思表示をはっきり示して欲しいということ、統合場所について何らかの報告をいただきたいということ、跡地についての意見もいただきたいということで書いてございます。

委員 通学先についてですが、地元の話し合いの中で進めることとなっているので、報告してほしいというのは要望ですね。

事務局 H17年の意見書の中で、市教委が勝手に決めるのではなく、統合場所については、地元の意見を聞いて、地元の話し合いの中で決定するということになっています。そのため統合準備委員会の中で何らかのご報告が欲しいということでございます。

委員 明德と本郷の場合は、統合の是非の報告と通学先と跡地利用の報告以外に報告されている箇所がありますが、今回の報告ではこの3つ以外は必要がないというということですよ。

事務局 はい。

委員 わたしは地域の代表として出てくる以上は、地域がもっと率直に言い合った方がいいと思います。私の意見としては、木之本に新しい学校を持って来るものと地域の大方の人は考えております。さかのぼりますけど、前の安藤教育長が、初めてあいさつに来られた時に、こういう話し合いも大事だけれど、市の教育委員会としても意見を申し上

げる機会があるとおっしゃった経緯があります。県は高校などを統合する時に、こうするのが望ましいからこうしますよとはっきり言うわけです。岐阜市の教育委員会もあまり地元押し付けしないで、最初から教育委員会の意見をあげてしまえばいいとかねてから思って申しあげています。地域の意見を吸い取ってやりましょうというのが岐阜市のやり方だけど、そんなことやっていてもいつまでも結論が出ません。だから今日は徹明の施設を見せてもらって、次は木之本の施設を見せてもらって、次の会議では市の教育委員会の意見を聞きながら意見を出してもらって、こちらの方が望ましいよということ早く決めて、どちらかに決まったら跡地はどうするかを併記したらいいのではないかと思います。しかし明德・本郷の報告書の中ではまだ時期尚早ということで併記していませんよね。なかなか話が進展しませんが、事務局としてはどうお考えでしょうか

事務局 教育委員会ではどちらというのは今持っておりません。生徒の人数が多い少ないは簡単にわかるのですが、立地条件等をみた時に、どちらの学校がよりふさわしいのかと言うと非常に難しい問題だと思っています。

委員 本郷と明德を統合した時に、本郷に移ったのは本郷の方が明らかに人数が多かったわけです。そこらへんが大きな原因になっていると思われれます。そういうことも総合的に考えて、私はもう少し市がはっきりとした意見を持ってないといけないと思います。ほんとは最初から市の方からこれが望ましいと言った方がよいと考えています。そうしたら私は地元に戻ってこうですよ話をして、市の方針はこうこうだからと説明し、地元を説得すればいいと思います。だから市が第三者として方向性を示すのが一番望ましいし、やらないといけないと思います。

委員長 私もどちらかという市がこんな案がありますと言ってくれた方が楽です。そして徹明は歴史が深いのもわかるし、木之本の児童の数が徹明の2倍以上なのもわかります。しかしそういう話を抜きにして、両地域で子どもが勉強するためにはどこが一番いいのかななどを検討してもらった結果、歴史や生徒数も関係なく子供のために0からのスタートで新しい学校を作るのであればいい結論が出るかもしれないと思います。

委員 徹明地域は子どもの環境のためには徹明がいいと思っている人がかなりいるわけです。喧々諤々して決めて市の方に提言するためには、もっと率直に言いたいこと言って決めた方がいいと思います。

委員 やっぱり事務局というのはこういう両方の意見を斟酌しながらある方向に持っていかなければならないと思います。どんな会議でも自分たちがこれが望ましいという方向に導いていかなければならないと思います。ただ聞くだけでもいけないし、裁定もしなければならな

いと経験上思います。

委員長 いずれは市の考え方はどうなのかという質問は出るかと思います。
委員 今日は学校を見ることになっていますし、来月も学校を見ることになっていますからその後意見を出し合えばいいと思います。

委員長 確かに統合場所について議論するときはみなさん喧々諤々になると思います。施設環境などのデータについてはある程度はつきりしていますから、PTAの人たちは真剣に考えて議論できると思います。

委員 子どもの数は年々変わりますからね。

委員長 これから徹明小の施設を見学し、疑問や問題点を出していただくということで、教頭先生説明の方をお願いします。

(徹明小の教頭先生による説明と施設見学及び通学路の確認)

委員長 教頭先生ありがとうございました。
次回は7月27日14時30分より木之本小学校の施設と通学路を確認し、両校を比較検討していきたいと思います。皆さんどうもありがとうございました